

教育研究水準判定の分析項目・観点の見直しについて(案)

○ 見直しの視点

- ・ 学部・研究科等の現況分析を大幅に簡素化
- ・ 検証アンケートにおける法人からの意見
 - ◇ 教育体制、方法、内容の各分析項目は相互に関連し合うため、区分して書きづらいという指摘が複数なされている。
 - ◇ 分析項目の構成は適切であるが、各項目の中に二つずつ設定された観点について、分けて記述しづらかったという意見も複数みられる。
 - ◇ 学部に適した観点が多く、たとえば「主体的な学習を促す取り組み」は大学院においては当然であり重要でないとの指摘もある。

第 1 期

第 2 期

(教育)

分析項目	基本的な観点
I 教育の実施体制	○ 基本的組織の編成 ○ 教育内容、教育方法の改善に向けて取り組む体制
II 教育内容	○ 教育課程の編成 ○ 学生や社会からの要請への対応
III 教育方法	○ 授業形態の組合せと学習指導法の工夫 ○ 主体的な学習を促す取組
IV 学業の成果	○ 学生が身に付けた学力や資質・能力 ○ 学業の成果に関する学生の評価
V 進路・就職の状況	○ 卒業(修了)後の進路の状況 ○ 関係者からの評価



分析項目	基本的な観点
<u>I 教育活動の状況</u>	○ <u>教育実施体制</u> ○ <u>教育内容・方法</u>
<u>II 教育成果の状況</u>	○ <u>学業の成果</u> ○ <u>進路・就職の状況</u>

(研究)

分析項目	基本的な観点
I 研究活動の実施状況	○ 研究活動の実施状況 ○ 大学共同利用機関、大学の全国共同利用機能を有する附置研究所及び研究施設においては、共同利用・共同研究の実施状況
II 研究成果の状況	○ 研究成果の状況(大学共同利用機関、大学の全国共同利用機能を有する附置研究所及び研究施設においては、共同利用・共同研究の成果の状況を含めること。)



分析項目	基本的な観点
<u>I 研究活動の状況</u>	○ <u>研究活動の状況</u> ○ 大学共同利用機関、大学の全国共同利用機能を有する附置研究所及び研究施設においては、共同利用・共同研究の実施状況
II 研究成果の状況	○ 研究成果の状況(大学共同利用機関、大学の全国共同利用機能を有する附置研究所及び研究施設においては、共同利用・共同研究の成果の状況を含めること。)